



世田谷区立砧中学校 校長室だより
令和4年11月28日
第44号
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」 ① 集団生活における責任感と自主性を養う ② 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ③ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
社会性の学び	知的的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

PISA「協同問題解決能力調査」(後)

～「主体的・対話的で深い学び」と「グローバル化」～

3 大学入試共通テストの改革

一昨年から大学入試共通テスト改革が実施され、数年前には試験と解説が発表されました。

大学入試共通テスト改訂の方向性は、高校の学習指導要領の改訂に伴う変更ですが、問われる問題の内容や方針は、PISAの「協同問題解決能力調査」問題と同質のものです。

試験の解説には、中教審「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」が引用され、幼稚園・小学校時期から「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に取り組む態度」を育成することが必要、と改めて強調されています。

大学入試共通テストの改革も、中学校と無縁ではないのです。

4 授業等で求められる方向性

昨年度から完全実施された学習指導要領・・・

小学校・高等学校は「大改訂」です。

内容の変更に加え、教科名変更、教科統廃合・新設も大幅にありました。

これに比べ、中学校では指導内容は、ごく一部の変更にとどまります。

そのため、中学校では改訂の実感が薄い現状もありますが・・・、

教員の指導の仕方に言及している点では、小学校・高等学校と一緒にです。

少し評価の観点が変わるだけ、ではありません。

教員に指導改善を義務付けた、という点で「大改訂」と認識を・・・。

前提：すべての時間を「協働的なもの」にする必要はない

ただし、「協働的なもの」にできる授業は「協働的に」

その時は「いかにして解決するか」を大切に・・・ How to Solve It. (ポリヤ)

○「主体的な学び」の視点 *自分から学びに向かうにはどうするか。

*自分の意見を、どのようにして持たせるか。

*自分の意見を発表する勇気を、どう育てるか。

○「対話的な学び」の視点 *異質の意見や対立の意見に、どのように反応するか。

*異質の意見や対立の意見を、どのように「協働的に」結論に結び付けるか。

*「意見の対立」を「感情的な対立」にしないためにどうするか。

*「平行線の意見」を、どのように処理するか。

*「自分の責任」と「他人の責任」の範囲を、いかに確認させるか。

*自分の意見への責任を、どのように意識させ、取らせるか。

○「深い学び」の視点 *自分の意見の根拠となる事柄や論理性を、どのように育むか。

*自分がどのように考えればよいかを、どのように理解させるか。

*何を考えればよいかを、どのようにして明確にさせるか。

⇒ こういった視点で授業改善

⇒ 最終的には、義務教育終了後、上級学校や社会で育む力の準備に

(大学入試改革 や PISAの「協同問題解決能力調査」のような調査 にも直結)